

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用者本人の働く意欲をかきたてる、賃金アップに結び付く取り組みを職員とともに考えることがモチベーションアップにつながっています
	内容	事業所では昼礼として、利用者と職員が一緒に話し合いを行い、事業所の新しいルールなどについて検討がされています。弁当のメニューは利用者からの発案で製造されています。さらに、新しいメニューなどについても利用者から声が上がります。月に1度のメニュー会議で利用者と職員がいろいろと討議を重ね、1つの弁当を作ることに携わることは、利用者にとってもやりがいを感じられるものと聞き取り調査からも推察されます。利用者の主体性を尊重しながら、事業所の理念である「生き生きと働ける職場」を実現しています。
2	タイトル	地域の関係者や関係機関とも協力体制をとりながら、利用者が関わりを深めることができるよう努めています
	内容	弁当の製造・販売のほか、委託業務として清掃業務や宅配用の牛乳ボックス清掃など多岐にわたっての仕事に携わっています。弁当の販売は一戸から配達したり、清掃作業では地域社会に参加する必要性や楽しさを実感してもらっています。配達のほか店頭販売を通じて金銭の授受を含めて地域住民との接点を多くする機会を作っています。今年度は、地域のイベントでの出店機会を増やし利用者も携わることで、さらなる地域との関わりを持つ機会を増やしました。相談支援事業所との連携も併せて、さらに地域社会と接する機会を増やす構想があるようです。
3	タイトル	利用者の障害特性で判断するのではなく、一人ひとりの特性・個性にフォーカスした支援を展開しています
	内容	かつて、当事業所では利用者の支援方法や対応法について、病名にとらわれていた時期があったようです。利用者調査書や生活マップの活用の目的からも、利用者個々に目を向け障がい特性も一人ひとり異なることから、どの程度の知識やスキルがあれば良いか、といった視点で目を向けるようになりました。例えば、事業所内の清掃などのルールも分担制としますが、輪番制とはしていません。利用者が主体的に取り組むことができるよう、本来の個別支援に向けた取り組みが、通所時のみならず生活全般にも寄与するように展開しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業所のルール、環境整備、作業工程などについて利用者一人ひとりが理解することができる取り組みが期待されます
	内容	弁当を製造するスペースには、さまざまな守らなければいけないルールが掲示されています。盛り付けの仕方などは最も難しい作業のため、イラストで示され非常にわかりやすいものとなっていますが、一目見て理解を得やすいものが少ない印象です。例えば洗い物をした後の置き方といった細かな作業については口頭で伝えられているようです。利用者が増えたこともあり厨房が狭いといった声もあがっているため、大きな事故などにつながることがないよう、口頭で伝えていることを視覚的にみてわかるものを掲示するなどの取り組みが期待されます。
2	タイトル	利用者の能力に応じて、段階的に仕事のステップアップを図る仕組みづくりへの構築が期待されます
	内容	弁当の製造ばかりでなく、利用者が携わる仕事は、店頭販売や配達、売り上げの計算など多岐にわたります。それぞれの特性に合わせて作業配分を行っており、また本人が希望する仕事(例えば事務作業)を尊重しています。しかし、職員からは仕事を一律にしてもらうために、時には本人の能力には見合わない仕事が割り当てられることもあり、任せられるまでには育っていないという意見もありました。限られた人数の中で仕事をこなしていくため大変なことは理解できますが、利用者の能力に応じて段階的に仕事を割り当てる仕組みづくりが期待されます。
3	タイトル	ケース記録が作業面に偏っていることから個別支援計画書との連動性を持った記録を残すことが求められます
	内容	個別支援計画にもとづいた支援の実践とともに、利用者一人ひとりに対するケース記録をしています。ケース記録の内容が、作業面に偏った傾向が見受けられました。利用者の日々の変化や様子について記載することも必要ではないでしょうか。モニタリング実施をする際に、日々のケース記録が個別支援計画書に連動した内容が記載されることで振り返りが容易となると思われます。作業面のみならず、利用者の生活全体をイメージしつつ通所時間帯における様子や状況変化などの気づきを記録することが求められます。